

## 日立産業制御 Vol. 3 | 2016.07 インフォメーションレター

### 株式会社 日専連旭川さま 事例紹介

### セキュリティ強化によるIDカード(社員証)紛失リスク対策や意識改革



写真:指静脈認証を行う浜岡専務取締役

株式会社 日専連旭川さまは、大切なお客さまの情報を守るためセキュリティの強化に取り組まれています。

なかでも、侵入や持ち出しによる情報漏えいへの対策として入退室管理を厳格化するため、「指静脈認証による通行管理」と「認証時の映像記録」の連携システムを今回導入いただきました。

#### 株式会社 日専連旭川さま (平成28年3月31日現在)

■事業内容: クレジットカード事業、キャッシング事業、携帯電話事業、レンタル事業、駐車場業務

■加盟店: 6,247店  
■カード会員: 126,888名  
■従業員数: 128名



### 【導入効果】課題と解決策

#### IDカード紛失対策

IDカード(社員証)の不正利用によるリスク

#### 「指のみ」認証の導入

「紛失/貸し借り」のない認証方式で持ち出し自体を不要に

#### (社外のお客さま)

情報漏えいを起こさないためにしっかり取り組んでいる様子が見て取れるので安心できます。

#### 入退室ルールへの遵守

認証せず入室してしまうことがある

#### アンチパスバックの導入

「未入室」の状態でも「退室」またはその逆ができない不正入退室抑止の仕組み

#### (社員)

ルールを守る仕組みが構築され安心して業務が行えます。セキュリティも意識しています。

#### 映像記録を残したい

警報が発生したシーンをすぐ参照したい

#### 防犯カメラ+長期間保管

高圧縮&大容量の録画システムで長期間保管とすばやい検索を実現

#### (管理者)

記録と蓄積ができるようになり「データがある」こと自体が安心につながっています。

### PickUp!

IDカード(社員証)を紛失「不正利用」されると...



執務室への侵入リスク  
社員になりすまして侵入



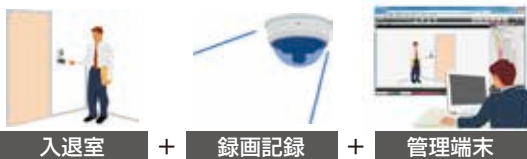
不正アクセスリスク  
機密情報を持ち去り

セキュリティ事故となり、会社や社員に与える影響/損害が大きい

例:お客さま情報の漏えい、社会的信用失墜、損害賠償、認証取り消し、再発防止態勢構築など

### 【システム紹介】指静脈による入退室管理と映像記録の連携

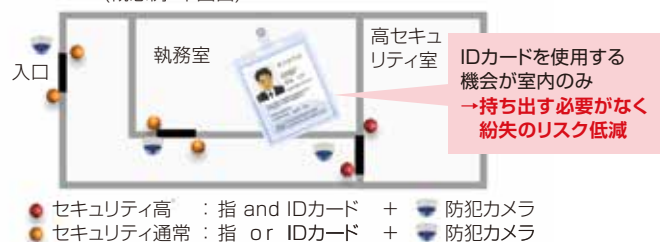
#### 特長1 連携による管理強化



**指静脈による生体認証**  
生体内部の指静脈パターンを利用して個人を特定する生体認証です。偽造が極めて困難、認証精度が高いなどの特長があります。

#### 特長2 IDカードを持ち出さない運用

(概念例:平面図)



## 【インタビュー】日専連旭川さまにお話を伺いました



右より、専務取締役 浜岡 雄史さま、総務管理統括執行役員総務部部長 前田 昌己さま、  
コンプライアンス室室長代理 大野 貴則さま

### 導入を検討されたきっかけは何ですか？

昨今のカード会社においては、PCI DSSの取得のためにもセキュリティ向上に取り組む必要があります。当社も、従来は「入室」のみのチェックであった運用を改め、「退室」と「内部監視」も含めた体制でセキュリティを高めたいと考えようになったことがきっかけです。

PCI DSS: Payment Card Industry Data Security Standardsの略  
クレジットカード会員データを安全に取り扱うことを目的として策定されたセキュリティ基準

### これまでお使いの機器や、競合他社製品と比べ、どの点をご評価いただけたのでしょうか？

各社ともにアピールポイント、考え、重視しているものがそれぞれ異なり悩みましたが、指の静脈という生体情報を使うことによる確実さ、分かりやすさに惹かれました。そのうえで「入室/退室/映像記録」のニーズを満たしていること、そして「価格」の面も考慮して選定しました。また、導入や設置の段階においても、場面ごとにアドバイスをもらえ、勉強になった部分も多いと考えています。

### 運用を開始するにあたり、ご苦労はありましたか？

想定していたよりも社員からの反応が良かったです。もちろん認証されにくい人はいますが、指の置き方やタイミングなどをつかむことで慣れてきたと思います。

ただ、アンチパスバックなどでセキュリティを強化したことにより締め出されることもあります。

たとえば自分の前を歩いている人の認証を、自分の認証と間違え「入室」の情報が無くなるようなケース。ほかにも、考え事をしていたり、バッテリーに会ったときなど、ついうっかりして困ることがありますが、これはシステムではなく、使う側の意識と運用ルールでカバーする課題と認識しています。

その意味でも、社員のセキュリティに対する意識の高まりも感じるようになりました。

### 導入されて、効果を実感されることはありますか？

体制を整えたことで、何かあったときにも迅速に対応するための情報が残っている。という安心感を得ることができました。また、外部のお客さまがお越しの際も、生体認証で入退室管理をしている姿を見て「オッ」と感心されることも増えました。

### これからの展望についてお聞かせください。

システムの拡張という意味では、出勤状況やPCログオンとの連動なども検討しています。入室/退室/映像のデータも蓄積することで将来的に解析などにも利用できると考えています。また、今回セキュリティを強化した際に、重要区画のレベル分けを経験することで、建屋内での人の往来や動線を、行動/時間/場面などさまざまな視点で検討する機会を得ました。これにより、単にシステムやツールを導入してセキュリティを高めるだけではなく、われわれ自身の意識を改革し、運用ルールも改良していくことで、総括的なセキュリティ向上をめざすという思いを新たにしたいところです。

### 今回の導入がセキュリティ向上のきっかけとしてお役に立てて光栄です。今後の改善もぜひ一緒に取り組まさせていただきます。



ドーム型防犯カメラ



「防犯カメラ作動中」表示



社員から見える場所に管理端末

## 【ご紹介】セキュリティ強化をサポートするソリューション

### 入退室管理(生体認証)



**指静脈入退室管理システム**  
「SecuaVeinAttestor」(セキュアベインアテスター)  
指静脈認証、入退室管理、アンチパスバック、不正行動抑止効果とセキュリティに対する意識の向上

### 防犯カメラシステム



**防犯監視用ビデオカメラシステム**  
管理対象となる場面を高画質で撮影  
超解像処理技術により、少ないデータ容量で高精細の映像確認が可能  
入退室履歴と連動し、検索で映像確認が可能

### 録画システム



**映像蓄積配信サーバ**  
「StreamGear」(ストリームギア)  
大量の映像データを録画・蓄積し、多数の端末に配信できる、高品質で高性能な映像蓄積配信サーバ

### 連携ソリューション



**指静脈認証を活用した「連携ソリューション」**  
認証情報を利用し、鍵管理BOX連携やPCログイン連動などに活用  
さらなるセキュリティ対策を図り、利便性も向上

本紙の情報は、2016年7月時点の情報です。

製品の改良により予告なく記載されている仕様と変更される場合があります。

●「SecuaVeinAttestor」と「StreamGear」は、株式会社日立産業制御ソリューションズの登録商標です。

●超解像処理技術とは、伝送された画像よりも解像度の高い画像を生成する技術です。

●この資料は国内向けに提供する商品/サービスの情報です。

●製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

●本製品を輸出等される場合には、外国為替及び外国貿易法の規則ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

入退室 指静脈 日立産業制御 検索

営業統括本部 〒110-0006 東京都台東区秋葉原6番1号 秋葉原大栄ビル (03)3251-7240  
北海道営業所 〒060-0002 北海道札幌市中央区北二条西4丁目1番地 札幌三井JPビルディング (011)221-1383  
東北営業所 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町四丁目1番25号 東二番丁スクエア (022)266-7240  
茨城支店 〒310-0011 茨城県水戸市三の丸一丁目4番73号 水戸三井ビル (029)221-2770

中部支店 〒460-8435 愛知県名古屋市中区栄三丁目17番12号 大津通電気ビル (052)259-1241  
関西支店 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島二丁目3番18号 中之島フェスティバルタワー (050)3154-3863  
中国営業所 〒730-0036 広島県広島市中区袋町5番25号 広島袋町ビル (082)248-2838  
九州営業所 〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜二丁目1番1号 日立九州ビル (092)844-7636

人々の生活を安全・安心で豊かにするため  
優れた技術で新しい価値を提供し、社会の発展に貢献する

**株式会社 日立産業制御ソリューションズ**

発行元 ●担当：経営戦略本部 広報・渉外部  
●TEL：0294-52-8657(日立内線：8973-4256)  
●E-mail：gijyutsunews.biz.kt@hitachi.com  
<http://www.hitachi-ics.co.jp/>